

令和2年度 第2回 碧南海浜水族館協議会議事日程

日 時 令和3年 3月17日 (水)
午後3時30分～

場 所 碧南市臨海体育館1階第2体育室

1 開会の辞

2 協議事項

- (1) 令和2年度事業報告について 【資料1】
- (2) 令和3年度事業計画について 【資料2】

3 報告事項

- (1) 令和2年度 碧南海浜水族館運営研究会議について 【資料3】
- (2) コロナ渦における海浜水族館の活動状況について 【資料4】
- (3) その他

4 連絡事項

- (1) 令和3年度 第1回碧南海浜水族館協議会の日程について
令和3年5月下旬 午後3時30分～ の予定

5 閉会の辞

※閉会后、希望される方に館内をご案内いたします。

令和2年度 碧南海浜水族館協議会委員名簿

氏名	役職名	選出基準	備考
角谷 竹虎	新川中学校長	学校関係者	
多田 宏明	中央小学校長	学校関係者	
小澤 徹	学校教育課長	学校関係者	
高松 陽子	運営研究会議代表	学校関係者	
上田 章子	文化協会代表	社会教育関係者	
杉浦 明	文化財保護審議会代表	社会教育関係者	
石川 太一	幼小中PTA連絡協議会代表	社会教育関係者	
水野 裕子	碧南市民間保育園園長会 代表	家庭教育の向上に資する活動を行う者	
長谷川 哲巳	おやじの会 代表	家庭教育の向上に資する活動を行う者	
宮原 英明	元中学校長	学識経験のある者	
堀 竜治	株式会社JERA 碧南火力発電所副所長	学識経験のある者	
阿知波 英明	元愛知県水産試験場 場長	学識経験のある者	

【事務局】

教育長	生田 弘幸
教育部長	岡崎 康浩
水族館事務長	杉浦 英樹
水族館館長	森 徹
水族館副館長	地村 佳純

◎博物館法第20条第1項（博物館協議会）の規定に基づく

◎碧南海浜水族館の設置及び管理に関する条例

- ・第5条第2項（委員の構成）、第3項（任期）

学校教育の関係者

社会教育の関係者

家庭教育の向上に資する活動を行う者

学識経験のある者

任期（2年）：平成31年4月1日～令和3年3月31日

※但し、幼小中PTA連絡協議会代表の任期は1年とする。

- ・第6条

会長は教育委員会が指名し、副会長は会長が指名する。

令和2年度 碧南海浜水族館 事業報告（令和3年1月31日現在）

1 特別展および企画展の開催

タイトル	開催期間	開催日数	参加者数 入館者数	(前年)	前年比 (%)
(1)特別展					
夏「出没！未確認生物～奇妙で怪しいキワもの凶鑑～」	8月1日～11月1日	80	29,357	57,693	50.9
冬「にほんブログ村な私たち～思わず叫ぶ奇妙なうごき～」	12月12日～1月31日	43	20,192	23,398	86.3
春「ザ！擬態」	3月20日～5月9日	44	準備中	34,102	
(2)催事・イベント					
GWイベント	4月29日～5月6日	中止		24,119	-
オリンピック・パラリンピック水族館	6月6日～9月6日	中止		新規	-
ガーガーレース	5月31日・9月20日	中止		新規	-
夏の特別展関連イベント	8月29日	2	396	新規	-
カメレース	9月12日	中止		新規	-
写生大会作品展	10月19日～11月28日	中止		24,818	-
夜の水族館	10月17日	中止		1,142	-
岡崎市東公園動物園連携移動動物園	10月25日	中止		530	-
飼育体験イベント	11月28日～11月29日	中止		4	-
公開水槽掃除	11月8,28日	2	1,673	新規	
潜水掃除公開	12月2日	1	197	80	246.3
正月水槽「干支の生き物」	1月2日～1月19日	15	6,041	7,522	80.3
ふれあい水族館	2月13日～2月14日	中止		新規	-
合計	延べ	187	57,856	173,408	

2 教育普及活動

R2.3月末

行事名称	開催日	定員	参加人数	(前年)	前年比(%)
(1)申し込み制の行事(一般対象)					
・水族館バックヤードツアー(1日2回開催)	土・日・祝	各回10名	中止	2,136	-
・自然観察会					
①矢作川の河口で春を感じよう(碧南市) 無料	5月23日	50名	中止	39	-
②海の生きもの魚っちゃんぐ(美浜町野間海岸)	9月19日	35名	中止	30	-
③きのこの観察会(鳳来寺)	10月10日	35名	中止	31	-
④森でネイチャーゲーム(豊田市自然観察の森)	11月7日	35名	中止	31	-
(2)申し込み制の行事(中学生以下対象)					
・写生大会	10/10,11,17,18	なし	中止	212	-
(3)申し込み制の行事(小学生対象)					
・サマースクール					
①「ちりめんモンスターを探せ」	7月24日	20名	中止	21	-
②「外来種ブルーギルを釣って調べよう」	7月28日	20名	中止	19	-
③「夜の水族館探検隊」	8月5日	25名	中止	25	-
「夜の水族館探検隊」	8月18日	25名	中止	27	-
(4)申し込み不要の行事(一般対象)					
・工作教室(にほんブログ村チンアナゴ・ストーンペイント・ウッドペイント) (12/26,27,1/11,30,31)	5回	40名程	330	574	57.5
(5)ビオトープイベント					
・ビオトープ観察会(3回)					
ビオトープ観察会① 植物観察	4月26日	15名	中止	8	
ビオトープ観察会② 水辺の生き物	6月6日	15名	15	16	93.8
ビオトープ観察会③ 夏の生き物	7月5日	15名	14	新規企画	
ビオトープ観察会④ トンボの観察会	9月12日	15名	15	台風中止	
・体験イベント					
①蜂の巣を解体してみよう	8月8日	6組	中止	25	
②しめ縄作り	12月5日	30名	中止	40	
③ビオトープのお米で餅つき	1月10日	200名	中止	300	

3 学校教育における校外学習の受入れ

(1) 碧南市内の小学生の受け入れ(校外学習)

対象学年	実施日	学級数 (前年)	児童数 (前年)	内容
2	6月	21	22	635 672 いろいろな魚たち(水族館見学)
4	9月-11月	20	20	645 695 碧南の土地の広がり・昔の道具体験
6	9月-11月	20	21	676 719 魚の解剖・バックヤード見学
合計		61	63	1,956 2,086

(2) 碧南市内小・中学校への訪問指導

対象学年	実施日	学級数 (前年)	生徒数 (前年)	内容
小4	5/30~6/14	22	16	645 542 ヤドカリとイソギンチャク
中2	10月27日	2	2	57 57 生き方講座
合計		24	18	702 599

(3) 実習および体験学習等の受入れ

実習名称	件数および人数	内容
職場体験	0件 0人	中学生の職場体験
博物館実習	中止 0人	大学生対象。学芸員資格取得のための実習
水族館実習	中止 0人	大学・専門学校・高校生対象の実習
教員10年経験者研修	0件 0人	教員対象
碧南市教員初任者研修	1件 17人	新任教員対象

4 主な展示・調査・生物収集活動

(1) 希少淡水魚保護事業(通年) ※ウシモツゴ・カワバタモロコ・ネコギギ・イタセンバラの繁殖保護活動

- ・イタセンバラ生息域外保全事業 : 環境省中部地方整備事務所と連携した保全活動実施
- ・企業と連携した保全事業 : 企業ビオトープの活用に向けた助言及び活動協力

9/4: アイシン辰幸栄田工場ビオトープ ウシモツゴ生育状況確認

7/16: アイシン精機株式会社 半田工場ビオトープ カワバタモロコ生育状況確認

(2) ビオトープボランティア活動(通年)

登録者数: 32名

5月16日	田植え	中止
9月6日	防鳥ネット、かかし作り	参加者数: 22人
10月18日	稲刈り	参加者数: 9人
11月1日	脱穀・草とり	参加者数: 14人

(3) イシガメ給餌体験参加者数 2,429人 ※6/2~10/25

- (4) ペーパーキャップ(6種類)の体験人数 4,978人
- (5) 折り紙体験人数 632人
- (6) アニマルクラブ体験人数 751人
- (7) 水族館内ワークシート体験人数 中止

5 主な施設整備および改修

名称	実施日	内容
(1) 冷房用チリングユニット更新工事	2月	館内空調用兼飼育水冷却用冷凍機の取り換え

6 出版物の発行

名称	発行回数
(1) 年報(年1回の出版)	1回/年 水族館の年間活動報告。展示・学習・研究等の紹介。
(2) アクアレーター(年3回の出版)	3回/年 生物・展示・トピックスの紹介
(3) その他	
特別展リーフレット	1回/年 夏の特別展での解説書
特別展解説チラシ	2回/年 冬の特別展、春の特別展で発行する印刷物
広報へきなん	毎月 広報「へきなん」にトピックスを提供

7 研究会・会議等の開催および参加

名称	開催時期	会議内容
(1)碧南海浜水族館協議会	① 5/29 ② 3/17	年2回開催。海浜水族館の事業計画について報告および協議。※①は中止
(2)碧南海浜水族館運営研究会	① 5/10 ② 2/ 3	年2回開催。校外学習の検討、生き物調査の実施。※①は中止
(3)研究会・会議等への参加		
会議名称	開催時期	内容
日本動物園水族館協会関連会議		
総会	中止	全国園館長会議(東京都)
園館長会議	中止	中部ブロック園館長会議(豊橋市・静岡市)
第1回中部ブロック飼育技術者研修会	中止	飼育技術を情報交換する会議(長野市・碧南市)
水族館飼育技術者研究会	中止	飼育研究について情報交換する会議(京都市)
設備会議	中止	飼育設備の情報交換する会議(男鹿市)
生物多様性委員会魚類作業部会	中止	希少魚の保全についての会議(草津市)
西日本両生爬虫類会議	中止	両生類、爬虫類の飼育情報の交換をする会議(大阪市)
日本動物園水族館教育研究会	2/6,7	教員・教育関係者・動物園水族館職員が参加する会(web)
イタセンバラ保護協議会	3/3	環境省連携事業。国の天然記念物の繁殖連携等の会議(web)

8 他団体との連携

連携先	開催時期	連携内容
(1) アイシン精機株式会社	通年	希少種の保全(ビオトープでのカワバタモロコの飼育) 自然観察会(矢作川河口)の運営協力
(2) アイシン辰栄株式会社	通年	希少種の保全(ビオトープでのウシモソゴの飼育)
(3) 岡崎市東公園動物園	中止	移動動物園・移動水族館の実施
(4) 碧南高等学校 科学部	11/7～11/23	透明標本の作製、展示
(5) 碧南高等学校 総合ビジネス科	9月～12月	水族館の生物をイメージキャラクターとしたラーメン製作
(6) 環境省中部地方環境事務所	通年	希少種イタセンバラの保全活動
(7) 世界淡水魚園水族館	通年	〃
(8) 東山動植物園	通年	〃
(9) 岐阜県水産研究所	通年	〃
(10) 宮崎大学	通年	トラザメ卵の提供

9 その他

- (1) 物販活動の整備、オリジナルグッズの開発
利用促進を図るため、ミュージアムグッズの販売を開始した。
(缶バッジ、絵葉書などオリジナルグッズの開発)
- (2) QRコード型電子決済の導入
入館券販売・アクアカウンター・ミュージアムショップでの対応を開始した。
- (3) ビオトープに飛来する野鳥の調査
宮原委員による2月-1月の調査期間に27種類の鳥を目視確認。
アオサギ、インヒヨドリ、カルガモ、カワウ、カラヒワ、キジバト、ケリ、ゴイサギ、コサギ、コチドリ、ジョウビタキ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、ダイサギ、ツグミ、ツバメ、ドバト、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシブソガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ
- (4) 新型コロナウイルス拡大防止のため臨時休館(4/9～5/31)

【基本統計】

1 水族館の飼育個体数（令和3年1月31日現在）

(1) 展示生物

無脊椎動物	44	種	376	点
魚類	205	種	6,267	点
爬虫類	10	種	73	点
両生類	10	種	40	点
計	269	種	6,756	点

(2) 展示生物の収集活動

7月21日	: 長崎県長崎市よりオヨギピンノ300点搬入
8月4日～5日	: 静岡県沼津市よりタカベはじめ2種353点搬入
9月29日～10月1日	: 高知県土佐清水市よりクロホシイシモチはじめ28種563点搬入
10月29日	: 静岡県沼津市よりタカベはじめ8種444点搬入

(3) 主な繁殖生物

ニホンイシガメ(屋外水槽飼育個体)	: 16	個体
イタセンパラ(希少種保全個体)	: 10	個体
ネコギギ(希少種保全個体)	: 0	個体
ウシモツゴ(希少種保全個体)	: 690	個体
カワバタモロコ(希少種保全個体)	: 570	個体

2 水族館入館者数の推移（平成29年4月1日～令和3年1月31日）

	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		
	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	前年比	開館日数
4月	9,286	26	9,084	26	25,637	26	890	3%	7
5月	12,048	26	11,012	26	25,714	27	0	0%	0
6月	9,798	26	9,199	26	20,317	26	14,747	73%	25
7月	16,417	28	13,084	26	17,837	26	17,975	101%	27
8月	25,336	30	24,905	28	29,430	28	24,487	83%	27
9月	10,516	26	13,692	26	25,148	25	20,566	82%	26
10月	11,861	26	10,530	26	22,518	25	13,828	61%	27
11月	11,429	26	11,800	22	15,365	26	12,807	83%	25
12月	5,027	24	リニューアル 休館		9,950	24	7,283	73%	24
1月	9,398	26			15,795	26	10,824	69%	26
2月	7,732	24			14,253	25		0%	
3月	9,408	27	14,358	8	1,698	5		0%	
合計	138,256	315	117,664	214	223,662	289	123,407	55%	214

※令和2年3/3～3/26まで52日間は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

※令和2年4/9～5/31まで53日間は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

※密集防止のための入場制限実施日は7/5(日), 12(日), 8/16(日), 9/13(日), 20(日), 21(月祝)

※7/14よりPayPayQRコード型電子決済運用開始

3 主な広報活動

R3.1/31現在

取材内容	新聞 情報誌	テレビ	ラジオ	報道機関名	計
春の特別展「お魚漢字検定」		1		KATCH	1
ニホンイシガメ・ビオトープ	1			緑書房	1
休館中の水族館		1		KATCH	1
水族館の再開		1		KATCH	1
水族館のコロナ対策		1		KATCH	1
ドチザメの「ドッチー」死亡	1			中日新聞	1
QRコードによる館内動画解説	1			中日新聞	1
全施設子育て情報	1			中日新聞	1
オヨギピンノ	2	3		中日新聞、毎日新聞、TV朝日、 CBCTV、KATCH	5
みちくさ散歩道三河湾の生きもの探索		1		KATCH	1
夏の特別展「出沒！未確認生物」	2	2	1	KATCH、読売新聞、朝日新聞、 CBCTV、PitchFM	5
アリゲーターガー	1			中日新聞	1
明治用水のアユ		1		KATCH	1
こたろうむ	1	1		中日新聞、名古屋TV	2
年末潜水清掃	2	4		中日新聞、たんぼぼニュース、 NHKTU CBCTV、東海TV、KATCH	6
干支の生物		1		スターキャットTV	1
冬の特別展「によるよるな私たち」	2	2	1	中日新聞、読売新聞、CBCTV、 PitchFM、KATCH	5
碧南高校ラーメン		1		CBCTV、	1
ビオトープ			1	PitchFM	1
					0
報道総計(件)	14	20	3		37

4 各団体に向けた館内学習(随時受入) R3.1.31現在

(1) 学校訪問指導

実施日	学校	内容	学年	組数	人数
6月3日	中央小学校	ヤドカリとインギンチャク	4	3	91
6月9,10日	新川小学校	ヤドカリとインギンチャク	4	4	139
6月11日	日進小学校	ヤドカリとインギンチャク	4	2	58
6月12日	大浜小学校	ヤドカリとインギンチャク	4	3	87
6月16日	西端小学校	ヤドカリとインギンチャク	4	2	68
6月18日	鷺塚小学校	ヤドカリとインギンチャク	4	3	87
6月19日	棚尾小学校	ヤドカリとインギンチャク	4	3	115
10月27日	新川中学校	達人に学ぶ	2	2	57
合計	8件	(前年 6件542名)		22	702

(2) 体験学習・職場研修の受入れ

実施日	実習種別	学校名	人数
8月26日	碧南市教員初任者研修	市内小中学校	17
合計	1件	(前年 13件15名)	17

(3) その他館内学習の受入れ

実施日	実習種別	学校名	人数
合計	0件	(前年 39件1,880名)	0

令和3年度 碧南海浜水族館 事業計画

海浜水族館は、本市が三河湾、矢作川、油ヶ淵と水に囲まれ、海と深い関わりをもって発展してきたことから、海をテーマとして遊びの中に海に対する基本的な知識と探究心を育てるとともに自然と人間との関わりを学習し、自然を大切にする豊かな人間性を養うことや、小中学校のカリキュラムをベースにした校外学習の場として有効活用を図ることを目標にしている。令和3年度は引き続き新型コロナウイルス拡大防止の観点を踏まえ、制限の中でもより魅力ある事業を展開していく予定である。

1 特別展の開催

通常展示では困難なテーマについて、その科学性および社会性を紹介し、見学者の興味の高揚を図る企画性のある展示を開催する。

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| (1) 夏の特別展 「(仮称) 生き物たちの攻防戦」 | 7月17日～9月20日 |
| (2) 冬の特別展 「(仮称) 縁起のいい生き物たち」 | 12月11日～1月30日 |
| (3) 春の特別展 「(仮称) 骨のおはなし」 | (R4) 3月19日～5月8日 |

2 イベント・催事

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| (1) GW 生き物謎解きチャレンジ | 4月29日～5月5日 |
| (2) オリンピック・パラリンピック水族館 | 7月1日～9月5日 |
| (3) 夏休み特別展関連イベント | 7月24、25日 |
| (4) 東公園動物園タイアップ (東公園へは8/22) | 10月24日 |
| (5) 夜の水族館 (てらまち連携イベント夜間開館) | 10月16日 |
| (6) 碧南高校透明標本展示 | 10月23日～11月21日 |
| (7) Xmas 水槽ディスプレイ | 12月1日～26日 |
| (8) 潜水掃除公開 | 12月1日 |
| (9) 冬休み特別展関連イベント | 12月12、19、26日 |
| (10) 正月水槽「干支の生き物」 | 1月2日～16日 |
| (11) 春休み特別展関連イベント | 3月20、27日、4月3日 |

3 教育普及活動

博物館活動の一環として、海浜水族館展示資料に基づき、児童および一般を対象としたサマースクールや自然観察会等を開催する。

(1) 申し込み制の行事 (一般対象)

ア 自然観察会 事前募集

-
- | | |
|-------------------------------------|------------|
| (ア) 春の矢作川河口で生きもの観察 (碧南市) 定員30人 | 5月8日 |
| (イ) 身近なコケ観察と小さなコケム作り (碧南市) 定員10人×2回 | 6月12、26日 |
| (ウ) 落ち葉の下で生きもの探し (碧南市) 定員10人 | 10月16日 |
| (エ) 大浜漁港でバードウォッチング (碧南市) 定員10人 | (R4) 1月22日 |
- ※(ア)は参加費無料 (イ)は参加費500円 (ウ)(エ)は参加費100円

イ 工作教室

(ア) 傘づくり 定員 20 名×3 回	5 月 15, 22, 29 日
(イ) 万華鏡づくり 定員 20 人	8 月 7 日
(ウ) エッグペイント 定員 30 人×3 回	9 月 11 月 1 月に各 1 回
(エ) ストーンペイント 定員 30 人×3 回	10 月 12 月 2 月に各 1 回
(オ) しめ縄作り 定員 10 人	12 月 4 日

ウ アクアカウンター

-
- (ア) ペーパーキャップ
 - (イ) アニマルクラフト
 - (ウ) 折り紙セット
 - (エ) ワークシート

(2) 各団体に向けた館内学習 (随時受入)

遠足、子供会等で来館する団体に、水族館の見どころや生き物のミニ知識の講話、ペーパーキャップのワークショップなど 15 分程度のプログラムを実施。

4 ビオトープ関連事業

(1) ビオトープ観察会

ア 春の植物観察会	4 月 24 日
イ 水生生物観察会	6 月 5 日
ウ 夏の観察会	7 月 3 日
エ トンボの観察会	9 月 11 日(予 12 日)

※定員：各 20 名程度 (当日受付)、参加費：無料

(2) ビオトープ体験イベント

ア ニホンイシガメエサやり体験ガチャ	5 月～10 月
イ 蜂の巣を解体してみよう体験 定員 20 人	8 月 8 日
ウ ビオトープのお米で餅つき	1 月 10 日

※ア、イの参加費は 100 円、ウは参加費無料

(3) ビオトープボランティア (年間 5 回程度開催)

ア 外来植物の駆除	4 月 17 日
イ 田植え	5 月 15 日
ウ 防鳥ネット張り	9 月 5 日
エ 稲刈り	10 月 16 日
オ ビオトープのお米で餅つき運営補助	1 月 9 日
カ 自由活動	6 月～8 月、11～12 月

5 学校教育における校外学習の受入れ

碧南市内の小・中学生の学習の場として海浜水族館を利用し、学校では困難な学習活動を行い、探求心・創造性を養うとともに、自然保護への啓発・普及を行う。また、その実践に伴う教諭対象の研修会の開催、指導の手引きの作成、実験観察材料の提供等を行う。

(1) 碧南市内の小学生の受け入れ (校外学習)

市内の小学校から児童が来館し、海浜水族館での学習を実施。

小学2年生 (生活科) : いろいろな魚たち (水族館見学)、トヨタ自動車衣浦工場内のビオトープ見学

小学4年生 (社会科) : バス見学、碧南の土地の広がり (新田開発)・昔の道具体験

小学6年生 (総合・理科) : 魚の解剖、バックヤードツアー

学 年	学級数	児童数	受け入れ期間
2	21	661	5, 6 月
4	20	666	9~11 月
6	20	701	9~11 月
合 計	61	2, 028	

※ 児童数は、R2. 3. 31 現在の予定人数

(2) 碧南市内小学校への訪問指導

碧南市内の小学校を訪問し、実物を交えて生き物の解説を実施。

対象 : 小学4年生・国語「ヤドカリとイソギンチャク」

(3) 実習および体験学習等の受け入れ

ア 中学生の職場体験、

イ 高校生以上の水族館実習

ウ 大学生以上の博物館実習 8/17~22

エ 教員研修

6 主な展示・調査・生物収集活動

(1) 展示生物の収集活動 (年4回程度)

展示生物の確保のための収集活動。鹿児島県、石川県、静岡県、三重県等。

(2) 三河湾・伊勢湾生物採集調査 (年3回)

展示生物確保のための三河湾・伊勢湾内での生物採集および調査。

(3) 希少淡水魚保護事業・生息調査 (通年)

環境省および愛知県、企業と連携した県内希少淡水魚の保護活動。

(4) ビオトープボランティア活動 (年5回開催)

公募で集まったビオトープボランティアの皆さんと一緒に、植物の植え込み、田植えなどビオトープの整備を行う。また今年度より、ボランティアの都合に合わせた任意の日ごとに活動ができる体制を開始する。

7 主な施設改修

(1) 屋外トラックヤード東面フェンス修繕

老朽化が著しい木製フェンスを修繕する。

(2) 冷水系展示水槽冷凍機取替修繕工事

深海生物等冷水系展示水槽チラーの交換による修繕を行う。

(3) 水族館屋根防水改修工事

建物の延命を図るため屋根防水を改修する。

8 出版物の発行

- (1) 年報（年1回の出版）
- (2) アクアレター（年3回の出版）
- (3) その他（特別展リーフレット、広報へきなんへの原稿提供）

9 研究会・会議等の開催

- (1) 碧南海浜水族館協議会（開催予定：5月、3月）
- (2) 碧南海浜水族館運営研究会議（開催予定：5月、2月）
- (3) 日本動物園水族館協会 中部B飼育技術者研修会（開催予定：1月中旬）
- (4) 日本動物園水族館教育研究会（開催予定：R3年10月下旬）

10 その他

- (1) 利用者満足度向上に向けた取り組み
 - ア 閑散期（冬季）の集客を想定したPR活動の充実
 - イ ミュージアムショップ商品の充実
 - ウ 団体の利用促進に向けた活動
- (2) 他団体との連携
 - ア アイシン精機株式会社、アイシン辰栄株式会社：希少種の保全、観察会の共催
 - イ 岡崎市東公園動物園：移動動物園、移動水族館の実施
 - ウ 碧南高校科学部：透明標本の展示
 - エ 日本動物園水族館教育研究会

令和2年度 第2回 碧南海浜水族館運営研究会議

日 時 令和3年2月3日（水）16:00～

場 所 碧南海浜水族館2階 創作室

- 1 あいさつ（会長 小澤 徹）

- 2 協議並びに報告事項
 - (1) 本年度の「調査研究事項～学校との連携～」について
 - ア 校外学習
 - イ 訪問授業
 - ウ 体験学習の受け入れ
 - エ 学習教材の提供
 - オ 水族館主催の教室
 - カ 生き物調査
 - (2) 令和3年度の校外学習について
 - (3) その他

- 3 その他

- 4 おわりの言葉（館長 森 徹）

令和2年度 碧南海浜水族館運営研究会議研究員名簿

所 属	学 校 長	委 員 氏 名	備 考
学校教育課		小 澤 徹	会 長
新川小学校	鈴 木 裕	高 松 陽 子	副会長
中央小学校	多 田 宏 明	小 島 美 保	
大浜小学校	中 谷 眞 人	山 田 義 久	
棚尾小学校	杉 浦 かおり	石 原 奈美枝	新研究員
日進小学校	小 島 広 明	平 野 奈 美	
鷺塚小学校	石 橋 渉	高 取 隆 幾	
西端小学校	立 花 明 徳	奥 田 大 介	新研究員
東 中学校	長 谷 栄 次	鈴 木 皇 来	
南 中学校	川 隅 義 孝	三 島 克 彦	

- ・ 研究員の構成は、設置要綱により、学校教育課1名、小学校教諭7名（各校1名）、中学校教諭2名とする。
- ・ 会長は学校教育課長が務め、副会長は会長が指名する。
- ・ 副会長は、研究会議代表として碧南海浜水族館協議会に出席する。

令和2年度の「学校との連携活動」についてー反省と課題ー

1 校外学習

(1) 2年生 生活「生きものはっけん」(水族館見学とビオトープ体験)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各校1学級に市バスを2台体制で配車して児童の移動を行った。

ア 水族館見学・・・時間配分のスムーズな連携ができた。

イ ビオトープ体験・・・コロナ禍の中で、トヨタのビオトープ見学を取りやめ当館ビオトープの見学とした。

(2) 4年生 社会「碧南市の土地の広がり」(水族館学習とバス見学)

ア 午前にしたことで余裕ができた。帰校後にまとめの時間もとれた。

イ 北村氏には新任者と4年初担任者の11クラスに添乗していただき

ウ 今年度はコロナ禍の中で、子どもたちは、様々な行事も、校外学習の機会も減っている。そんな中、半日かけて市内見学をすることができることは、子どもたちにとってかけがえのない貴重な学習である。

エ 水族館での器具体験はとても良い体験学習となった。副教材では「堤防工事が江戸時代にあちらこちらで進められた」という挿絵地図と「何年も、何kmも工事した」という文面での資料しかなかったが、水族館での“天秤棒ともっこで荷物を担ぐ、体験によって、当時の大変さを、身をもって実感できたと思う。このような、五感を使った授業の大切さと実物の有用性を再認識することができ、教師としても勉強になった。

(3) 6年生 理科「体のつくりとはたらき」(水族館裏側見学と解剖実習)

ア 午後にしたため、やや窮屈な日程となった。バックヤード見学は、時間を短縮して行った。

イ 新学習指導要領の記載について「解剖」の文言は存続しており、水族館学習での解剖実習も継続していく。

ウ 事前の「命の大切さ」についての話によって、子どもたちに“真剣に取り組む心の姿勢と準備”ができたので、解剖に真剣に取り組むことができた。

エ 普段見ることのできないバックヤードを、子どもたちは興味津々で見学していた。

(4) 共通 4・6年の事前研修会(夏季)は継続する。新任者および4年生担任を初めて受け持つ教員を中心に、参加依頼する。

2 訪問授業

- (1) 4年生「ヤドカリとイソギンチャク」 市内7小学校20クラスで実施
ア 新教科書にも「ヤドカリとイソギンチャクの共生」の単元は存続しているため、要望の強い訪問授業も継続していく。
- (2) キャリア教育「水族館の仕事」10/27 新川中学校2年生への講義を実施

3 体験学習の受け入れ

- (1) 職場体験学習 当初、市外の4校4名より希望があったが、コロナ禍の中でキャンセルの申し出があり、以後受け入れ中止とした。

4 学習教材の提供

- (1) メダカの提供 市内全小学校に配布
ア 来年度も小学校は継続する予定。
- (2) 厚意でいただいていた愛知教育大学もコロナ禍で交流できず、中学校への微生物配布は今後もしないとする。

5 水族館主催のイベント・教室

- (1) サマースクール・観察会 夏季中心に小学生対象の講座を4回とも中止。
ア 来年度はバスを使用しない近隣地区での内容で開催の予定
- (2) 写生大会 コロナ禍のため中止。
ア 来年度は秋季に開催の予定。
- (3) ビオトープ関連 環境も安定し、生物も増えてきた。
ア 少人数でビオトープ観察会や田植え・稲刈りを実施。

6 生き物調査 コロナ禍の中で中止

テーマ「セミの脱け殻を探そう！」の3年目であったが、一旦計画を中止とし、令和3年度の生き物調査は当初から計画しない。

7 課題点

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が次年度も続くような状況がある場合、各行事の予定を変更したり、開催の中止をしたりする必要がある。
- (2) 各行事の内容に関して、消毒、換気、広い活動場所の確保を十分配慮して実施する。

コロナ禍における海浜水族館の活動状況について

1 経緯

令和元年12月 中国武漢省にて感染者確認

令和2年1月 国内にて初感染者確認

令和2年3月3日～26日まで臨時休館（3/2は月曜休館）

令和2年3月27日 再開館

令和2年4月7日 政府が5月6日まで緊急事態宣言発出

令和2年5月4日 5月31日まで緊急事態宣言延長

令和2年8月6日～24日 愛知県緊急事態宣言発出

令和3年1月13日～3月7日 愛知県を含む7府県緊急事態宣言追加発出

2 開館日数

	予定開館日数	休館期間（臨時休館日数）	開館状況
令和元年度	310日	3/3～3/26 24日間（21日）	289日
令和2年度	309日	4/9～5/31 53日間（46日）	264日見込

3 入館者数対前年比（%）※年間累計対前年59.4%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R2	3.5	0	72.6	100.8	83.2	81.8	61.4	83.4	73.2	68.5		

4 感染防止対策

- (1) 対策及び注意喚起看板設置
- (2) 館内各所にアルコールスプレー設置
- (3) タッチ式自動扉を感应式に設定変更
- (4) 開館中常時換気
- (5) コーナー机、椅子の削減
- (6) 館内除菌作業
- (7) 混雑時の入館制限（7/5、12、9/13、20、21）
- (8) マスク着用義務

5 活動状況

- (1) 水族館実習、博物館実習、学習プログラム受付中止

- (2) 創作室・研修室利用中止
 - (3) 学習プログラム、サマースクール、施設外自然観察会中止
 - (4) 工作教室中止するも12月から規模縮小再開
 - (5) バックヤードツアー受付中止
 - (6) 大水槽給餌解説（土日祝）中止
 - (7) 各会議中止（第1回水族館協議会・第1回運営研究会議、JAZA関連、環境省関連）
- ※一部はweb会議に変更して実施